

百人一首 (うたばんごう 歌番号:76 ~ 80)

ながからむ (ん)
心も知らず
黒髪の
乱れて今朝は
物をこそ思へ

待賢門院堀河
たいけんもんいんのほりかわ



あきかぜ
たなびく雲の
絶え間より
もれ出づる月の
影のさやけさ

左京大夫顕輔
さきょうだいのだいぶあきすけ



あわじしま
淡路島
かよふ千鳥の
鳴く声に
いくよねざめぬ
須磨の関守

源兼昌
みなもとのかねまさ



せはや
瀬を早み
岩にせかるる
滝川の
われても末に
逢はむとぞ思ふ

崇徳院
すとくいん



わたの原 (はら)
漕ぎ出でて見れば
ひさかたの
雲るにまがふ
沖つ白波
法性寺入道前関白太政大臣

ほつしょうじにゅうどうぜんせんのかんぱくたいせいだいじん



みだれてけ
さはものを
こそおもえ

もれいずる
つきのかげ
のさやけさ

いくよねざ
めぬすまの
せきもり

われてもす
えにあわん
とぞおもう

くもいにま
がうおきつ
しらなみ